



## 寄贈図書案内



(株)雄松堂書店会長 新田満夫氏より  
Anthony Hobson編  
『Transactions』  
(Association Internationale de Bibliophilie)

河村光雄氏より  
J.オーマン著, 上與二郎訳著  
『恩恵と人格』  
(小峯書店) 他2冊

李乗昌氏より  
李乗昌編著  
『韓国美術蒐選』  
(李乗昌)

松山大学助教授 中村太一氏より  
中村太一著  
『Vocaburary learning strategies』  
(晃洋書房)

本学卒業生 津田徹氏より  
武安宥, 長尾和英編  
『人間形成のアイデア』  
(昭和堂) 他1冊

本学卒業生 音田茜氏より  
音田茜著  
『茜のトラベルジャーナル』  
(エンジェル書房)

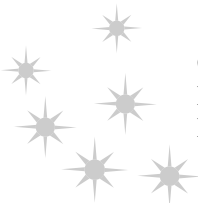
川崎桃太名誉教授より  
川崎桃太著  
『フロイスの見た戦国日本』  
(中央公論新社)

小倉博史教授より  
小倉博史, モーリス・ジャケ, 舟杉真一著  
『頭の体操フランス語で遊ぼう』  
(駿河台出版)

上野義和図書館長より  
上野義和著  
『大学実用英作文』  
(英宝社)

上記の通り寄贈を受けましたので、ここに紹介し、ご惠贈いただきました皆様に本紙面をかりて厚く御礼申し上げます。  
(データは平成15年4月現在)  
(管理運営課受入係)

## 表紙に掲げられた資料の解説



GUIGNES, Joseph de  
Dictionnaire Chinois, Francais et Latin  
Paris, 1813

### ギーニュ『中・仏・羅辞典』



ジョセフ・ギーニュ(1759-1845)が編纂したこの『中・仏・羅辞典(漢字西譯)』は、パリの皇帝印刷室で1809年の終り頃に印刷が開始され、1813年に完成し出版されたものである。この辞典の作成にあたったギーニュの父は、ナポレオン皇帝の通訳兼秘書をしていた有名な中国研究者である。息子ギーニュも中国に関するかなりの知識を持っており、17年間広東駐在フランス領事を務めた。

1808年のナポレオン皇帝の命令に従って、ギーニュはエチェヌ・フルモン(1683-1745)の《中羅辞典》(Dictionnaire Chinois - Latin, 1726) バジル神父の写本を参考にして、3年の期限で新しい辞典の編集に取りかかった。フルモンの辞典は声調による文字配列であったため、中国語の発音・声調・意味を知っている人しか利用できなかった。それに対して、ギーニュの辞典は画数による配列法が採用されたため、中国語の字形を知っていれば簡単に利用できるものであった。この辞典には、中国語に対する発音とフランス語及びラテン語で意味が書かれており、部首と各部首の文字が画数順に配列されている。また、総画索引と部首索引が付けられている。

この辞典は、1800年代前半期のフランスにおける、中国研究並びにカトリック教の中国伝道のために画期的なものであったと思われる。

原寸 43.8×30.1cm

『洋書百選』(1972年本学図書館刊行)より抜粋し、加筆。